

POETIC PASTEL : TEA TODAY 30th August – 13th September 2019

[オープニングレセプション]

2019年8月30日(金) 18:00 - 20:00

音楽パフォーマンス：Jatinder Singh Durhailay オーガニックティー：SaTerra

2019年8月30日より、ニーディギャラリーでは2度目となるポエティック・パステルのグループ展「TEA TODAY」を開催いたします。

「あなたにとって『安全な場所』とは？ 様々な領域を横断しながら制作を続けるアーティスト ジョアンナ・タガダは、お茶をしながら生まれる大切な会話に潜む親密さが具体化したものと答える。それは小声でささやかれる告白や共通の関心事。ある一定の時間軸をもち、また、空間そのものである。それははかなく、永遠である。」メイジー・スキットモア

本展は、フランス・プロヴァンス在住のセシル・ガラディエ、ロンドン在住のジャティンダー・シン・ドゥハレとジョアンナ・タガダの3人のアーティストによるグループ展です。「TEA TODAY」と題された招待状のようなものによって、ギャラリー空間は、ドローイング、陶、絵画、サウンド・インスタレーション、テキスタイル作品を媒介とした開かれた対話の場となります。「TEA TODAY」は、現代のお茶文化がとりえる形へのひとつの回答であり、環境をめぐる現実への問いかけでもあるのです。

ジョアンナ・タガダと清水ありさによる共同キュレーションによる本展では、セシル・ガラディエの 'pique - fleurs' (花を挿していける花器) や繊細な茶器も出展されます。ガラディエにとっては日本での初めての展覧会。'pique - fleurs'、茶器、テーブル・ガーデンを満たす水には東京の道端で摘まれた花々が生けられ、作品に降り注ぐ光は軽やかに瞑想へといざないます。ガラディエの作品が持つトーンや自然素材、染焼などの制作手法は、ジャティンダー・シン・ドゥハレの作品がもつ制作手法や素材と優しく呼応します。ドゥハレが描くのは、'ワスリ紙' と呼ばれる手漉きの紙に石の顔料を使って描くネオ・ムガル細密画。お茶を楽しむことと同時に生まれる、ゴミとその処理方法について、ユーモアを交えて描きます。彼が描く牛や鹿などの登場者は、柔和で几帳面であると共に、動物愛護や搾取を指摘するある種の辛辣さをもって描かれます。ドゥハレは、ドローイング、絵画、彫刻、既製品全ての間にあるような、彼にとっては初めてのインスタレーション作品を発表します。

キャンバスに描かれた油彩画の新作でジョアンナ・タガダは、お茶を、思考を、アイデアを、エネルギーを分かち合うために集う女性たちを描きます。やわらかな筆致と叙情的な色使いで、タガダは、彼女の近しい友人やコラボレーターたちの本質を引出し、力強さと傷つきやすさの一例として作品に定着させます。これらの近景を切り取ったような絵画作品には、それぞれ3分間の音声モノローグが合わせて展示されます。作品に描かれた人自身によって語られる記憶の物語は、結末を暗示するかのような、愛、人生、決断、たちはだかる壁にまつわる物語。言語的にも様式的にも『不完全』であること一事実私たちはみな不完全な存在なのだから一胸を刺すこれらの力強い作品は、貴重な瞬間が続いていくことへの捧げものなのです。キャンバスは新たな安全な空間となり全てを受け入れます。

本展は、アート・プロジェクト、ポエティック・パステルの拡張版であり、グラフィックデザイナーの Tilman S. Wedelstein (75W Studio) と共同出版している「Journal du Thé」に掲載される現代の茶文化の探求の一環として開催されます。また、渋谷の古書店・東塔堂ではジョアンナ・タガダの個展「Tamil Diary」も開催されます。併せてご覧ください。

【POETIC PASTEL / ポエティック・パステル】

アーティストのジョアンナ・タガダによる2014年から始まったコラボレーションプロジェクト。アート、パブリッシング、テキスタイルを中心に、あたたかい記憶、リズム、色、感覚、つながり、ポエトリー、お茶の文化、日常的な出来事からのインスピレーションをもとに、様々なアーティストと手を結び、幅広く活動している。

poeticpastel.com

【作家プロフィール】

■ Cécile Daladier / セシル・ダラディエ

1955年、フランス・パリ生まれ。現在はフランスの田舎にあるドーム県に暮らし、アーティストとして活動している。自然界の要素と過程に感銘を受けて制作された作品は、抽象画、環境芸術、インスタレーション、オブジェ、ガーデニングなど様々な分野に渡る。作品の主な題材は、花や水であり、大規模なインスタレーション作品のために屋外の活動に専念することもあるが、現在は陶芸が活動の中心となっている。

ceciledaladier.com

■ Jatinder Singh Durhailay / ジャティンダー・シン・ドゥハレ

1988年、イギリス・ロンドン生まれ。ロンドンを拠点に活動するペインター。彼自身の生活の一部であるインドのシーク文化をインスピレーション源に、彼自身の独自の・現代的センスで、カラフルかつ繊細な作品を作っている。2011年に University Arts London を卒業後、本格的にアーティストとして様々な場所でエキシビションに参加している。また、彼は音楽家としても活動しており、ディルバというインドの伝統的な弦楽器をメインに前衛的でユニークな音を作り上げている。The Art of Tea of The Art of Tea - TOO MUCH MAGAZINE, with a performance by Toshimitsu Kokido, Surprise Guest Takashi Homma, Tokyo, Japan (2016) など。

jatindersinghdurhailay.com

■ Johanna Tagada / ジョアンナ・タガダ

1990年、フランス生まれ、ロンドン在住。ペインティング、ドローイング、インスタレーション、彫刻、映画、写真、やわらかく繊細でエコロジカルなメッセージが含まれたテキスト、など様々なメディアを用いるアーティスト。グループ展多数。個展としては「Épistolaire Imaginaire - Merci」(Galerie Jean-Francois Kaiser, 2017)、「Take Care - きをつけて」(Nidi Gallery, 2018)。2014年に、コラボレーションプロジェクト Poetic Pastel を設立。2018年に出版プロジェクト「Journal du Thé - Contemporary Tea Culture」始動。2018年には 最初の作品集「Daily Practice」(InOtherWords) が出版されている。

www.johannatagada.net

展覧会 : POETIC PASTEL 「TEA TODAY」

会期 : 2019年8月30日(金) - 9月13日(金)

時間 : 13:00 - 20:00

休廊日 : 水曜日

会場 : nidi gallery (ニーディ ギャラリー)

東京都渋谷区東 2-27-14 ペガサスマンション 恵比寿 #102

入場 : 無料

(同時開催)

展覧会 : Johanna Tagada 「Tamil Diary」

会期 : 2019年8月31日(土) - 9月28日(土)

時間 : 12:00 - 20:00

休廊日 : 日曜日

会場 : 東塔堂 | Totodo

東京都渋谷区鶯谷町 5-7-1F

入場 : 無料

本展に関するお問い合わせ先 : nidi gallery 清水 ありさ

〒150-0011 東京都渋谷区東2-27-14 ペガサスマンション 恵比寿 #102

03-6277-5579 info@nidigallery.com

<https://nidigallery.com/>